

# カノコソウ

*Valeriana fauriei* Briq.  
スイカズラ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

1 山域に確認されるのみで、生育地が局限し、個体数が極めて少ない。40 年前に確認されたのみである。

## 種の特徴

山地の湿った草地に生える多年生草本。茎は直立して高さ 40～80 cm、細長い地下茎をだす。葉は羽状に全裂する。花期は 5～7 月。淡紅色の小さく、密な集散花序につき、苞は線形。

## 分 布

北海道～九州に分布する。県内では奥越地方で確認されている。

## 生育を脅かす要因

生育を脅かす要因として草地開発による生育地の消失、自然遷移があげられる。薬用として採取の対象になりやすい。

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

# ハナビゼリ

*Angelica inaequalis* Maxim.  
セリ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

既知の生育地点は 3 箇所である。前回は要注目とされていたが、県内での生育地が限られているため、県域絶滅危惧Ⅰ類とした。

## 種の特徴

山地に生える多年草。茎は直立し、高さ 60～100 cm。葉は 2～3 回 3 出羽状複葉で、葉柄は長い鞘状でふくらまない、小葉は長卵形～広卵形、多少あらい鋸歯がある。頂葉片の基部は葉柄に流れない。8～9 月頃、花序をつける。花柄や小花柄が不同長なのが特徴。

## 分 布

本州（関東以西）～九州に分布する。県内では奥越、嶺南地方で確認されている。

## 生育を脅かす要因

生育地である森林や草地の開発。シカ等の獣害による影響はあらたな脅威となりえる。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○														○	

# ハナウド

*Heracleum sphondylium* L. var. *nipponicum* (Kitag.) H. Ohba  
セリ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

既知の生育地点は 7 箇所である。前回は要注目とされていたが、県内での生育地が限られており、生育基盤が脆弱なため、県域絶滅危惧Ⅰ類とした。

## 種の特徴

川沿いや森林の林縁に生える一年草または越年草、ときに多年草。茎は直立し、高さは 1m にもなる。葉は 3 出葉か単羽状複葉で、小葉は 2～3 対で卵形～広卵形で、浅～中裂し、あらい鋸歯がある。6～7 月頃、直径約 18 cm の花序をつける。果実は広楕円形、両端は浅くへこむ。

## 分 布

本州（関東以西）～九州に分布する。県内では、福井市、永平寺町、高浜町、おおい町で確認されている。

## 生育を脅かす要因

生育地である森林や河川の開発、植生遷移による生育環境の悪化。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○	○							○							○